

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年2月25日(2016.2.25)

【公表番号】特表2015-509245(P2015-509245A)

【公表日】平成27年3月26日(2015.3.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-020

【出願番号】特願2014-552350(P2014-552350)

【国際特許分類】

G 06 F 3/041 (2006.01)

G 06 F 3/044 (2006.01)

【F I】

G 06 F 3/041 4 0 0

G 06 F 3/044 1 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月28日(2015.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1のセンサ電極、第2のセンサ電極及び第3のセンサ電極を備える第1の列内の第1のセンサ電極セットであって、前記第1のセンサ電極が前記第3のセンサ電極にトレースを介して電気的に結合されており、前記トレースが2つ以上のセンサ電極の間に配置されている、第1のセンサ電極セットと、

第4のセンサ電極、第5のセンサ電極及び第6のセンサ電極を備える第2の列内の第2のセンサ電極セットであって、前記第4のセンサ電極が前記第1のセンサ電極と容量結合するように構成されており、前記第5のセンサ電極が前記第3のセンサ電極と容量結合するように構成されている、第2のセンサ電極セットと、
を具備する容量性イメージセンサ。

【請求項2】

前記第2のセンサ電極が、前記第1のセンサ電極と前記第3のセンサ電極との間に配置されている、請求項1に記載の容量性イメージセンサ。

【請求項3】

前記第3のセンサ電極が、前記第1のセンサ電極と前記第2のセンサ電極との間に配置されている、請求項1に記載の容量性イメージセンサ。

【請求項4】

前記第6のセンサ電極が、前記第4のセンサ電極と前記第5のセンサ電極との間に配置されており、

前記第2のセンサ電極が前記第4のセンサ電極及び前記第6のセンサ電極と容量結合するように構成されている、請求項1～3のいずれか一項に記載の容量性イメージセンサ。

【請求項5】

前記第3のセンサ電極が第1の領域及び第2の領域を有し、各第1の領域が前記第2の領域よりも大きい面密度を有し、前記第1のセンサ電極が前記第1の領域に隣接して配置されており、前記第2のセンサ電極が前記第2の領域に隣接して配置されている、請求項1～3のいずれか一項に記載の容量性イメージセンサ。

【請求項6】

前記第2のセンサ電極が前記第1のセンサ電極と前記第3のセンサ電極との間に配置されており、前記第2のセンサ電極が、前記第1のセンサ電極と前記トレースとの間に配置されている第1の突出部を有する、請求項1、4又は5に記載の容量性イメージセンサ。